

株式会社中電工 個人投資家向け会社説明会 質疑応答

開催日時：2022 年 12 月 14 日（水）19：00～20：00

※当日、時間の都合上ご回答が出来なかったご質問について、ご回答申し上げます。

【Q1】[河川監視システム](#)によって得られる災害情報、予測情報はどのように応用されて防災に役立っているのでしょうか？例えば川の流れを変えとかあるのでしょうか？

【A1】本システムは、河川監視カメラから取得した映像をクラウドで AI 解析し、危険水位を自動的に判定するシステムで、河川の水位が一定値を超えた場合、行政関係者にメールやアプリでアラートが届く仕組みです。物理的な対応はできませんが、行政の速やかな対応に資するとともに、一般の方にも画像を公開することで、幅広い防災対応に役立つものと考えております。

【Q2】災害が多い年は儲かるのでしょうか？

【A2】台風や豪雨、雪害などによって電線の断線や電柱の倒壊などが発生すると、1 分 1 秒でも早く復旧できるよう中国電力ネットワークとともに作業を行います。しかし、その分準備をしていた工事ができなくなりますので、全体の工事量が大幅に増えることはありません。今後も、迅速な災害対応とともに計画的な設備の更新や強化を行っていくことで、皆さまに安定した良質の電気をお届けしてまいります。

【Q3】空調設備事業において、東京新宿駅周辺の通路工事とありましたが、御社の技術とか特長が活かされているのでしょうか？

【A3】駅自体が非常に古く、既存物を考慮した施工計画や図面作成が必要でした。また、人が絶え間なく行き交う駅の工事は「居ながら工事」であるため、とくに安全面など慎重な対応が不可欠でした。夜間作業が主となり、時間の制約にも苦労しましたが、3D スキャナによる現地の点群データを活用するなど、工事の影響を最小限に抑えられるよう綿密に施工計画を立て、無事完工することができました。

【Q4】太陽光発電は、何十年後かに大量のパネルなどのゴミも問題になってくるし、老朽化したパネルを維持できない家庭や企業も増えると思うが、どう考えるか？

【A4】老朽化した太陽光パネルの問題は、環境面から今後非常に重要になると考えております。新聞報道などでも新たな技術や違った側面からの再利用等のニュースもございますので、当社としてもそうした情報や社会状況を注視して、社会課題への具体的な取り組みを検討してまいります。

【Q5】 御社の中国地域におけるシェアは何%でしょうか？

売上高は中国地域が70～80%ですので、現シェアによっては売り上げを伸ばすことは難しいのではないのでしょうか？

【A5】 中国地域の設備工事に関する当社シェアがどの程度かについては正確に把握することはできませんが、売上高増加への取り組みとしては、再開発事業などが見込まれ市場規模の大きな東京・大阪・名古屋といった都市圏において、体制を強化しつつ拡大に向けて取り組んでおります。

【Q6】 円安の影響はプラスですか？来年の想定レートもあれば教えてください。

【A6】 施工側にとって、エネルギー価格の高騰による諸経費の増加や輸入材料の使用などの面において、円安は原価増加の要因の一つでございます。なお、想定レートの設定は行っておりません。

【Q7】 御社が目指すレジリエントな社会とは具体的にどのような社会ですか？

【A7】 当社グループは、主に電気などのインフラにかかわる設備工事業を行っておりますので、災害時の対応や省エネ設備等の提案などを通じて、高度な価値を付加した生活環境や事業環境の創出に力を入れております。各分野において、こうした取り組みが継続的になされることにより、トータルとして安全で暮らしやすい社会が実現されていくと考えております。

【Q8】 CM 素晴らしい出来映えです。見ていて感動すら覚えるほどです。CM 出演の方々はみなさん従業員さんでしょうか。

【A8】 CMに関するご感想をありがとうございます。

① 「届け、あの島へ」篇 動画は[こちら](#)から

当社が施工した海峡横断という特殊な条件下での大規模な工事の様子を映像と音楽で表現し、電気の安定供給を担う責任感と地域の人々への想いを訴求しています。主な出演者は当社従業員でございます。

② 「快適パフォーマンス」篇 動画は[こちら](#)から

ZEB建物である当社事業場を舞台に、当社が幅広い業態を手掛け、お客さまに快適な環境をお届けする「総合設備エンジニアリング企業」であるということを、ダンスパフォーマンスと軽快な音楽で表現しています。2名のダンサーは当社従業員ではなくプロのダンサーでございます。

③ 「『快適』に新しいカタチを」篇 動画は[こちら](#)から

当社が幅広い業態を手掛けていることを、ドローンを活用した映像や音楽で訴求しています。メインの女性のみタレントさんで、そのほかの出演者は当社従業員でございます。

【Q9】元々は中国電力を主な顧客とされて来たとは思いますが、今後どのような分野で顧客を獲得、増やして行かれるのでしょうか？

【A9】現在、電柱や送電線など中国電力グループから頂いている工事は、連結決算ベースで 20% 程度となっており、今後も維持工事など電力の安定供給に取り組んでまいります。

一方、屋内電気工事や空調管工事などの一般工事については、中国地方には工業地帯も多く、これまでに取引のあるお客さまや工場工事等で一定の売上を維持しつつ、再開発事業などが見込まれ市場規模の大きな東京・大阪・名古屋といった都市圏において、体制の強化を行いながら拡大に取り組んでおります。

【Q10】社会インフラを支える企業はどこもお客さまから「やって当たり前」と見られ、評価されています。そんな中で、社員の皆さんのモチベーションをいかに保ち・高めていこうと考えていますか？

【A10】社員一人ひとりが電力の安定供給に貢献しているという使命感を持っているからこそ、酷暑や災害時など厳しい状況下にあっても、モチベーションを保ち業務を遂行することができていると考えております。また、会社としては賃金や賞与といった処遇面の向上と、社員一人ひとりのスキルアップや自己啓発などの育成面の充実にしっかりと取り組んでまいります。

【Q11】優待の導入は考えておられますか。

【A11】全国的に個人投資家を意識した形でいろいろな会社が検討、あるいは実施をされていることは認識しております。当社は、機関投資家も含めた株主様への平等な還元にも配慮し、引き続き配当と自己株式取得による株主還元を行いたいと考えております。

【Q12】ここ 3～4 年株価の低迷が続いていますが、どのようにお考えでしょうか？ 今後、具体的な施策を予定していれば回答をお願いします。

【A12】株価は市場の取引によって価格が決定されるものでありますが、PBR が 1 倍を下回る状況にあり、企業価値の向上を図っていきたいと考えております。

PBR の改善として具体的には、①事業拡大や成長投資による業績向上、②配当政策の継続、③積極的な I R・S R 活動等により実現させたいと考えております。

一方で、資本政策の基本的な方針および「中期経営計画 2024」の資本政策の具体策に示している「経営環境等を総合的に勘案したうえで、必要に応じて自己株式取得を実施する」ことを考えております。また、必要により株式流動性の向上や資本効率の改善につながる施策を検討してまいります。

以 上